

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

資料1
協議事項

西尾市地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和4年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
	目標指標				
鉄道の維持活性化	各公共交通機関の年間利用者数 (別紙1)	別紙1	事業者が有する乗降データを用いて計測	別紙1	計画策定から評価までの期間が短く、行った事業は少ない。今回の増加は、令和3年度下半期の施策や、コロナに対する利用者の行動の変化によるところが大きいと思われる。計画に記載の利用促進策によって各交通機関の利用者回復を後押ししたい。
ニーズに対応した公共交通ネットワークの充実					
次世代に向けた取り組みの推進					
公共交通を使いやすい仕組みの整備	六万石くるりんバス、いっちゃんバスの年間の土休日利用者数及び佐久島渡船の年間の観光利用者数	バスロケーションシステムの運用 各種観光・誘客イベントの開催	事業者が有する乗降データを用いて計測	令和4年度 六万石くるりんバス:29,482人 いっちゃんバス:536人 佐久島渡船:101,130人	市内公共交通を網羅したマップの作成及びマップのスマホアプリ連動など、見える化の推進等により観光利用の回復を後押ししたい。
観光利用の促進、まちづくりとの連携強化				令和3年度 六万石くるりんバス:25,259人 いっちゃんバス:341人 佐久島渡船:92,756人 昨年度同期間より、いずれも増加した。3年度は第4波、4年度は第7波の影響を受けつつも、増加していることから観光利用が回復していると考えられる。	
公共交通の魅力発進と情報提供	六万石くるりんバス、いっちゃんバスの収支率及び市の公共交通費用負担額	地区公共交通協議会の運営 GoogleMaps及びコンテンツプロバイダへのダイヤ情報掲載	運行委託事業者から提出される委託料請求内容及び市の決算額を用いて算出	令和4年度 六万石くるりんバス:8.4% いっちゃんバス:1.3%	計画策定から評価までの期間が短く、新規事業は行えなかったが、地区公共交通協議会の運営の結果を反映した施策を実施するなど、具体的な取り組みへつなげたい。
地域で支える仕組みの継続				令和3年度 六万石くるりんバス:7.5% いっちゃんバス:1.0% 利用者の伸びと同様に、収支率も改善している。定期外の利用が増えているとみられる。	

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

交通機関名	目標を達成するための取組	達成状況・分析			
		前年同期値 または目標値	実績値 (対前年同期比)	分析	コロナ以外で考えられるもの
名鉄西尾・蒲郡線	利用促進補助（親子利用・団体利用）、貸切列車及び連動企画の実施、西幡豆駅トイレ整備	1,428,581人 (R3.4-9実績)	1,534,296人 (+105,715人)	コロナの影響緩和	乗る機会の創出及び駅周辺環境の整備のため
六万石くるりんバス	利用講座の実施	91,055人 (R3.4-9実績)	107,013人 (+15,958人)		啓発活動による乗り方の路線の浸透や効率的な路線運行のため
いっちゃんバス	広報紙への特集記事の掲載の他、沿線地域イベントと合わせた無料乗車日の実施	1,191人 (R3.4-9実績)	1,785人 (+594人)		路線の認知度向上とイベントとの連携などによる啓発活動のため
いこまいカー	地区公共交通活性化協議会を開催し、目的地の拡大を検討	1,949人 (R3.4-9実績)	3,226人 (+1,277人)		令和3年10月に実施した目的地拡大及び吉良・幡豆地区におけるチラシの全戸配布による認知度向上のため
名鉄東部交通バス（幹線）	利便性を向上させるためのダイヤ改正を実施	320,860人 (R3.10-R4.9実績)	329,381人 (+8,521人)		一色線の観光利用の回復及び沿線施設の開業のため
ふれんどバス（幹線）	パークアンドライドのための刈宿自転車駐車を整備	247,915人 (R3.10-R4.9実績)	255,499人 (+7,584)		利用環境の充実のため
佐久島渡船（幹線）	佐久島の環境を生かした野鳥観察やウォーキングイベントなどを実施	112,624人 (R3.10-R4.9実績)	122,740人 (+10,116人)		国による旅行支援策の充実や各種イベントの開催のため

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

〇〇市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（〇年〇月～〇年〇月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p>××系統の利用者数：2000千人/年（令和元年度）→2100千人/年（令和6年度）</p>	<p>××系統の再編・他系統と乗り継ぎしやすいダイヤの設定</p>	<p>バス事業者の有する乗降データを用いて計測</p>	<p>・2030千人（令和3年3月時点） ・周辺に大規模商業施設がオープンしたことによる来訪者数増加が寄与したものの、地域住民の利用に大きな変化はなし。</p>	<p>・大規模商業施設の立地を見越した路線再編による効果は当初の予定通り達成できており、このまま推移すれば、令和6年度においても達成の見込み。 ・引き続き、再編後の路線・ダイヤによる運行を継続。 ・次年度に向け、引き続き課題となっている地域住民の利用を増やすため、地元の学生向けのバスPR活動や、高齢者割引を実施予定。</p>	<p>見直しの結果、地域公共交通計画の変更の必要はなし。</p>
<p>△△コミュニティバスに対する市の負担額：3800万円以内（令和元年度：3700万円）を令和6年度まで維持</p>	<p>××系統における、他系統との重複区間の減便・郊外一部区域までの路線延伸を通じた、地域の利用実態に即した運行への見直し</p>	<p>令和3年度普通会計決算より</p>	<p>・3650万円（令和3年度） ・系統全体の利用者数は減少したものの、運行効率化による費用減が影響し、収支に大幅なブレはなし。</p>	<p>・今年度の目標は達成。地域住民の声も踏まえ、引き続き運行を維持。 ・次年度に実施する沿線住民や来訪者への利用者アンケートも踏まえ、更なる運行効率化を検討。</p>	<p>今後、バスを廃止した場合の市の医療・福祉政策分野における追加的代替費用についても算出予定（クロスセクター効果の検証）。</p>
<p>計画において設定した目標を記載。</p>	<p>計画において定めた事業内容を記載。</p>	<p>目標の達成状況を把握するために用いた手法を記載。</p>	<p>調査時点における目標の達成状況及びその背景事情や原因について記載。</p>	<p>目標達成の有無や達成状況に対する所感及び今年度の状況を踏まえた次年度に向けての課題や次年度に取り組む事業内容について記載。</p>	<p>計画変更の必要性の有無や次年度以降に実施予定の取組等、他に必要な事項を記載。</p>